

委員会レポート

定例会6月会議の委員会活動を報告します

総務常任委員会「三春分署移転整備事業を調査」

基本設計・実施設計は令和8年8月末までに完成予定で、その後、令和8年10月に郡山地方広域消防組合が入札を実施する予定です。建設工事は令和10年1月末の完成を目指しています。

新しい分署は、大字熊耳字大平地内に建設され、建築延べ面積は約600㎡の2階建て、敷地面積は2,469㎡となります。勤務人員は14名（当務員4名）を予定し、ポンプ車、救急車、広報車が配備される計画です。



建設予定地の熊上字大平地内

地域の消防・救急体制のさらなる充実が期待されます。

委員長 三瓶 文博

経済建設常任委員会「現地調査を実施」

町内各所の現地調査を行いました。

「町道実沢青石永志田線」では、橋梁架替工事が進められており、全線の早期完成が望めます。

また、振興作物として普及拡大を進めているハウスぶどう栽培の現場を視察したほか、北町蔵にオープンした「三春レザー」を訪問し、革製品の製作販売やクラフト教室の運営状況を確認しました。

このほか、大平地区の漏水箇所や歴史民俗資料館浄化槽設置現場についても調査を行いました。



富沢字細田地内のブドウハウス

地域産業の振興やインフラ整備が着実に進められていることを実感しました。

委員長 影山 常光

文教厚生常任委員会「障がい福祉サービス事業所を調査」



①5月26日荒町にオープンした地域活動支援センター「さくら」

創作活動や生産活動を通して、障がいのある方が地域社会と交流する機会を提供。

③でんでんむし

就労継続支援B型事業として、利用者が働く場を通じて知識や能力の向上を図り、自立した生活につなげている。

⑤かたつむり

クッキーや豆かりんとう、箸細工の製作のほか、役場桜ホールで喫茶販売を行っている。



②就労継続支援B型事業所「みはる工房」

箸セット作りやウエスカット作業、高齢者住宅の清掃、資源物回収などを実施。

④いちご

介護を必要とする方を対象に、訓練や創作活動などを通して、自立した生活を支援する生活介護事業所。

障がいのある方が地域で安心して暮らし続けられる環境づくりの重要性を改めて認識しました。 委員 石井 一正